

経済的な負担を軽減する制度

入試成績優秀者特待生制度

対象の入学試験を優秀な成績で合格した上位者は、**授業料を半額免除**します。

- ◆ **優遇内容:授業料半額免除(最大49名、4年間で176万円免除)**
- ◆ **適用期間:最大4年間** ※入学後各学年末に、学業成績等をもとにした継続審査を行います。
- ◆ **対象入試:適用人数・適用条件:(下表参照)**

最大4年間 **授業料半額免除**
(176万円)
※毎年継続審査があります。

	一般選抜		共通テスト利用入試			
	A日程	B日程	一般A日程利用型	一般B日程利用型	前期	後期
学力試験または共通テストの判定点の得点率	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	75%以上	75%以上
リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科	6	2	1	1	4	1
総合心理学部 総合心理学科	6	2	1	1	4	1
食環境学部 食イノベーション学科	2	1	1	1	2	1
食環境学部 管理栄養学科	4	1	1	1	3	1

◆ 注意点

- 一般選抜は、標準型の得点で判定します。
- 英語の「みなし得点」は利用することが出来ません。英語の「みなし得点」を利用する場合も必ず「英語」学力試験を受験してください。
- 特待生に決定した場合、合格通知とともに通知します。特待生となった入試の入学手続締切日までに、入学手続を完了しない場合は特待生の権利を失います。
※すでに入学手続を済ませた方が特待生になった場合、特待生になった受験番号で再度入学手続書類を提出する必要があります。
※すでに入学手続を行った入試で、入学金が减免されている場合は、入学金を納付いただく必要があります。
- 特待生となっても入学の義務は生じません。
- 帝塚山学院大学奨学金、帝塚山学院大学学業成績優秀者奨学金、小野奨学会奨学金、ファミリーエントランスマラソン制度、その他本学の奨学金や授業料等の免除制度との併用はできません。

特待生チャレンジ制度

本学の2024年度入試で合格し、入学手続を済ませた方も、入試成績優秀者特待生制度の特待生をめざして、出願可能です。

- ◆ **対象入試:** 一般選抜A日程・一般選抜B日程 共通テスト利用入試 一般A日程利用型・一般B日程利用型 共通テスト利用入試 前期・後期
- ◆ **対象学科:**入学手続を済ませた同一学科に限ります。
- ◆ **優遇内容:**入学検定料 無料*

※一般選抜A日程・B日程の入学検定料は出願時にお支払いいただきますが、合格発表日以降に返金させていただきます。その他入学検定料が無料の入試は、返金はありません。
※入学手続を済ませた学科以外に出願された場合、入学検定料返金の対象ではありません。
※手数料は返金対象外です。

- ◆ **必要書類・申請方法:**出願登録を行い、出願必要書類と、入学手続き完了通知のコピーまたは入学手続(入学手続予定を含む)を行った受験番号の記載がある受験票のコピーの提出が必要です。出願締切日以降の申請はできません。

※特待生チャレンジ制度で出願された方への結果通知は、入試成績優秀者特待生制度が適用された方へのみ送付します。それ以外の方へは送付いたしません。

入学後にもチャンスあり! 帝塚山学院大学学業成績優秀者奨学金制度 詳細は右ページをご覧ください。

ファミリーエントランスマラソン制度

入学金の半額 **12.5万円免除!**

志願者の3親等以内の親族(志願者本人は除く)に本学院の卒業生(卒園生)あるいは在学生(在校生・在園生)がいる場合、入学金を半額免除する制度です。

対象入試	全入試	親族系統図
応募資格	下記の項目を満たす者 ①本学の教育目標に深い理解を示す者で、本学院の卒業生(卒園生)あるいは在学生(在校生・在園生)の3親等以内の親族である者(志願者本人は除く) ②各入試区分の出願資格に準ずる者 ③合格すれば必ず本学に入学する者	
優遇内容	入学金半額免除	
申請方法	以下の書類を出願必要書類と共に提出 出願締切日以降の申請はできません ・続柄申告書(本学所定用紙を本学ホームページからダウンロード・印刷し、必要事項を記入・捺印の上、ご提出ください)	

奨学金

▶ 本学独自の奨学金

奨学金の種類	対象学年	募集時期	採用決定	給付期間	給付金額	条件
帝塚山学院大学学業成績優秀者奨学金【給付】	2~4回生(在籍期間1年以上あること)	—	6月ごろ	当該年度のみ	授業料年額相当額の半額を上限とする	各学科の年次のうち前年度末の成績評価に置いて累計GPA最上位の者
帝塚山学院大学奨学金【給付】	2~4回生	7月下旬~9月上旬	11月	当該年度のみ	授業料年額相当額の1/3	本学の定める成績および家計基準を満たしている者
ドミトリスカラシップ【給付】	1~2回生(編入生は入学時より2年間)	4月	—	1年間(条件を満たし申請により1年間継続可能)	年額 100,000円	保護者居住地が大府府以外で本学指定の宿舎に居住する者
留学スカラシップ【給付】	1~4回生	プログラムにより異なる	—	当該年度のみ	プログラムにより異なる	留学を希望する者で、大学の選考に達した者
ライセンススカラシップ【給付】	1~4回生	随時	—	当該年度のみ	検定料の半額	大学が指定する検定に合格または当該の成績を修めた者
キャンパス・スカラシップ賞【給付】	1~4回生	当該年	—	当該年度のみ	表彰および副賞授与	大学または社会に対し著しい功績があった者または団体

▶ その他の奨学金

奨学金の種類	対象学年	募集時期	採用決定	貸与期間	給付金額	条件
日本学生支援機構 第一種奨学金(無利子)【貸与】	1~4回生	4月	7月上旬	最短修業年限の終期まで	【自宅通学者】20,000円・30,000円・40,000円・54,000円から選択 【自宅外通学者】20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・64,000円から選択 ※最高月額については、日本学生支援機構の定める基準を満たしている者のみ選択可	日本学生支援機構の定める成績および家計基準を満たしている者
日本学生支援機構 第二種奨学金(有利子)【貸与】	1~4回生	4月	7月上旬	最短修業年限の終期まで	20,000円から120,000円のうち1万円単位で選択	日本学生支援機構の定める成績および家計基準を満たしている者
小野奨学会奨学金【給付】*	1~3回生	4月	8月上旬	最短修業年限の終期まで	50,000円	小野奨学会の定める成績および家計基準を満たしている者 ※1回生の成績は高等学校最終2か年の全体の学習成績の状況による

※帝塚山学院大学奨学金受給者、入試成績優秀者特待生は出願できません。
※小野奨学会奨学金以外にも地方公共団体や民間団体による奨学金制度も多数あります。募集の時期は団体により異なりますが、多くは4~5月に集中します。大学に募集依頼があった場合は、HP、ポータルを通して連絡します。大学に直接募集がないものもありますので、出身都道府県市区町村の教育委員会や各団体に各自問い合わせてください。

▶ 高等教育の修学支援新制度

国の高等教育の修学支援新制度は、経済的な理由で学び続けることをあきらめずにすむよう、授業料等減免と給付型奨学金により、意欲のある学生のみならずの「学び」を支える制度です。日本学生支援機構奨学金「納付奨学金」の申込みが必要となります。

減免上限額

約 **96万円** 【授業料 70万円 / 入学金 26万円】

給付型奨学金

約 **91万円** (年間)

詳しくは右記をご確認ください

【文部科学省】高等教育の修学支援新制度

【日本学生支援機構】奨学金の制度(給付型)

【日本学生支援機構】進学資金シミュレーター

自宅外通学の住民税非課税世帯の場合

対象学年	募集期間	採用決定	給付期間	給付金額	条件
1~4回生	(前半期)4月頃 (後半期)9月頃	(前半期)7月頃 (後半期)12月頃	最短修業年限の終期まで (継続審査あり)	下表参照	日本学生支援機構の定める成績および家計基準を満たしている者

世帯の所得金額に基づく区分	給付奨学金		授業料減免額(年額)
	自宅通学(月額)	自宅外通学(月額)	
第I区分	38,300円(42,500円)	75,800円	700,000円
第II区分	25,600円(28,400円)	50,600円	第I区分の2/3
第III区分	12,800円(14,200円)	25,300円	第I区分の1/3

※生活保護(扶助の種類を問いません。)を受けている生計維持者と同居している人および児童養護施設等から通学する人は、上表のカッコ内金額となります。